

TOHO CINEMAS BOAT

「TOHO CINEMAS BOAT」は、TOHOシネマズが実施する映画体験を通じて子どもたちの思考形成を育むことを目的としたプログラムです。映画を多くの人と一緒に鑑賞し、その舞台や設定を実際に体験し語り合うことで、子どもたちが「自分の考え」を育むことを目的としたアクティブラーニングとなっています。

2023年12月の第1回目のプログラムでは、渋谷区が手掛ける「THETOKYO TOILET」と協力し、近隣の小・中学生を対象に、トイレ清掃員の日常を描いた映画『PERFECT DAYS』（配給・協力:ビターズ・エンド）の鑑賞と、劇中に登場するトイレの清掃体験を行いました。

2024年3月に実施した第2回目のプログラムでは、『PERFECT DAYS』の鑑賞後、子どもたちが記者役となって清掃員や映画関係者に取材を行い、自作の新聞記事を作成・発表しました。主体的な姿勢で取り組み、チームで意見を出し合いながら記事を完成させることができました。

第3回目は、渋谷区立猿楽小学校の児童さんたちを対象に、TOHOシネマズ渋谷での劇場見学や職場体験を通じて、映画に対する興味を深めながら思考力を養っていくプログラムを実施しました。

2025年1月の第4回目のプログラムでは、TOHOシネマズ六本木ヒルズにて映画『野生の島のロズ』（配給・協力:GAGA）を鑑賞後にロボットをテーマにしたワークショップを行い、子供たちが考えた理想のロボットを発表してもらいました。

2025年3月の第5回目のプログラムでは、猿楽小学校の児童たちと短編映画プロジェクト「MIRRORLIAR FILMS」が協力して制作した短編映画『冬の向日葵』の舞台挨拶付き上映会をTOHOシネマズ渋谷で開催しました。劇場見学や職場体験を通じて児童たちが映画に関心を持ったことがきっかけとなり、自分たちの発案で映画制作に取り組んできた集大成として実施されたものです。映画制作から舞台挨拶の企画・運営に至るまで子どもたちが主体的に取り組み、上映終了後の会場は大きな拍手に包まれました。

TOHOシネマズでは、今後も映画を通じて、未来を担う子どもたちを支援してまいります。

